

平成 25 年度第 1 回根室市市政モニター会議【記録】

1. 日 時 平成 25 年 10 月 30 日（水）午後 6 時 30 分～午後 8 時

2. 場 所 根室市役所 3 階 大会議室

3. 出席者 【市政モニター】 11 名

【市 側】

市長、教育長、総合政策部長、総務部長、
市民福祉部長、水産経済部長、建設水道部長、教育部長、
病院事務長、消防長

【会議進行】総務部長

【司 会】総務課長

4. 開会挨拶（市長）

平成 25 年度、第 1 回目の開催となる市政モニター会議に、夜間にも関わらずご出席いただきありがとうございます。本年度は 17 名の方々に市政モニターの委嘱をさせていただいた。

広報紙などでもお知らせしているが、本年度は、平成 26 年度をもって計画期間が終了する「第 8 期総合計画」に代わる新総合計画の策定作業の取り組みをスタートしたところである。

また、本年度も市政方針に 4 つの重点施策として位置付け、積極的に取り組みを進めているところであり、

第 1 に、「根室再興政策プロジェクトの積極的な推進」。3 年目となる今年度は「産業活性化プラン」、「生活安心・安らぎプラン」、「みらい活力創出プラン」の 3 つについて本プロジェクトに位置づけた施策事業をより具体的にかつ積極的に推進している。

第 2 に、「災害に強いまちづくりの推進」。一昨年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災」は、当市においても花咲港地区に津波が襲来し、漁業関連を中心に大きな被害があった。このような中、当市は「500 年間隔地震」の発生が危惧されており、防災・減災対策は、当市にとって最重要課題となっている。このため、本年 8 月には「根室市地域防災計画」の総合的な見直しを行った。しかしながら、災害はいつ発生するかわからない状況にある。今後も更なる防災・減災対策の高揚を図るとともに、市民と行政の協働による地域防災力の向上はもとより、防災関係団体とも十分連携した防災・減災対策を図っていく。

第 3 に、市立根室病院の経営健全化と「市民に愛され、心の支えとなる病院」の実現。本年 1 月に市民待望の新市立根室病院での診療がスタートしたが、市立根室病院は、市内唯一の公的病院として、救急告示病院・災害拠点病院に位置づけられているほか、地域センター病院として機能と役割を担うことが求められている。今後も継続的な地域医療を担うためには、経営基盤の強化と効率化による「経営の健全化」が必要であるとともに、経営の根幹である医業収益の増加が不可欠であることから、常勤医師や看護師などの医療スタッフの安定的な体制構築が最優先課題であり、今後も北海道や道内外の医育大学、関係機関に連携・協力を要するなど、引き続き、精力的に取り組んでいく。また、ハード面の充実が図られた今、接遇改善などをはじめとしたソフト面充実を含め、病院の基本理念である「市民に愛され、心の支えとなる病院」の実現に向け、より一層努力していく。

第4に、「北方領土問題の解決に向けた関係諸施策の促進」。戦後68年が経過しようとする中、返還要求運動の中心を担ってきた元島民の6割の方々が島に再び帰ることを夢見ながら他界しており、残された時間があまり少なく、1日も早い領土解決を見なければならぬ。このような中、安倍総理とプーチン大統領が、本年4月29日に「10年ぶりとなる日ロ首脳会談」が行われ、第2次世界大戦後67年を経て、日ロ間の平和条約が締結されていないことを異常であると両首脳は一致している。また、10月7日には4度目の会見が行われるなど、信頼関係が更に醸成されたものと考えられる。今後は、来月から予定している各担当閣僚級協議など念頭に、あらゆるレベルで平和条約に関する議論を重ねていただき、その動向に注視しつつ、緊張感をもって、対応にあたって行きたいと考えている。

根室市の人口は9月末で28,609人と減少し、人口問題や財政再建など様々な課題が山積みとなっているが、どの課題も「オール根室体制」でことにあたれば「新市立根室病院」の建設のように打開できるものと確信している。

本日は、市政全般にわたり飛弾のないご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

5. 座席表により出席者の紹介

6. 以下、会議詳細

西浜墓地の仮設トイレおよび休憩所について

○モニター

お盆時西浜墓地に設置するトイレは、どのくらい前から設置するのか。また、ご自由にお休みくださいと表示されていた所に、草刈り機など用具が置いてあり、休めるようではなかったがどうなっているのか。

●市民福祉部長

西浜墓地の仮設トイレ及び休憩所の設置状況については、後日確認後お知らせする。

※西浜墓地の仮設トイレ及び休憩所については、お盆・お彼岸時期のみ設置している。

青空バザールの時間延長について

○モニター

青空バザールのフリーマーケット会場が、市役所駐車場から運動公園へと変わり、とても環境は良くなったと思うが、産業祭と重なっているため、12時終了だと行きたいけど行けないという人がいるので時間延長をしてほしい。

●市民福祉部長

時間延長については、来年度の検討課題としたい。

高齢化に伴う西浜墓地仮設トイレおよびベンチの設置について

○モニター

高齢化に伴って、西浜墓地に、お盆の時期だけでも仮設トイレを設置して欲しい。また、できればベンチも設置して欲しい。

●市民福祉部長

トイレの設置については後日確認後お知らせしたい。

しかし、ベンチについては市内に、19カ所の墓地があるので、その辺も踏まえて検討したい。

北方領土問題について

○モニター

市内の子どもたちに、もっと北方領土問題を知る機会を作った方がいいのではないか。

●総務部長

二ホロに市内の小中学生が見学に来た際、北方領土問題について専門員や、元島民などが説明する機会を作っており、今後も継続して行っていきたい。

1階窓口の開設時間について

○モニター

1階窓口の開設時間が、今は17時20分までだと思うが、仕事の都合上その時間に終わる人は少ないと思う。週に1回でいいので、時間延長をしてほしい。

●市民福祉部長

現在は、17時20分で終了しているが、数年前、試行的に平日18時まで、また、土日開設を行っていた。

しかし、利用者が少ないため、1階窓口は17時20分の通常業務の中で行っている。

戦没者慰霊碑付近の街灯について

○モニター

平内町の戦没者慰霊碑の回りで、夏場、中高生が花火をするなどよく集まっている。3、4週間前は、街灯がついていたが現在は消えている。防犯などの事も考えた場合、ついていないのはどうなのか。

●市民福祉部長

確認してお知らせする。

※根室市戦没者遺族会が、周辺施設と一体整備を行っており事務局である根室社会福祉協議会に市民から点灯の要望があったことを伝えた。

婚活イベントについて

○モニター

漁業者の間で出会いがないということが問題になっている。市を挙げて漁業者を対象とした婚活事業の展開を検討してはどうか。

●総合政策部長

婚活事業の問題として、集客問題が挙げられる。第1回婚活事業の集客も女性が少なく、ぎりぎり実施できた形であり、漁業者だけに特化した話なので難しいが、可能かどうかその辺も踏まえて検討したい。

海拔表示板について

○モニター

海拔何mなどを書いてある看板があり、高いところは青、低いところは黄色となっている。その看板が、浜松の海岸から高台に上がる坂の途中にあり、その記載が確か18mで青となっているが、明らかに安全ではないと思う。

●総務部長

昨年北海道が、最大津波浸水予測を出したのに合わせ啓発看板の新たな設置など検討している。

北方領土問題の説明について

○モニター

市長自ら中学生に北方領土問題を説明したということを新聞で見た。これはすごくいい機会だと思うので、もっと増やすべきではないか。

●総務部長

今後前向きに検討したい。

バードウォッチング等観光推進事業について

○モニター

バードウォッチングや草花など、もっと根室の自然を売り込んだ方がいいと思う。

●水産経済部長

市長からも、根室にはとても良い自然や歴史があるのでPRするよう指示があり、市としてももっとPRしていきたいと思っている。

海産物のPR活動などについて

○モニター

芽室町で行われた即売会で海産物のPRをした。もっと地方へPRに行きたいが、資金がないため年に1度しか売り込みに行けない。もっとバックアップ体制を取ってほしい。

●水産経済部長

持ち帰り検討したい。

港の整備について

○モニター

人口増加を図るため、北極海航路を使った船の出入りをする港の拠点を作ってはどうか。

●総合政策部長

北極海航路の件については、市長の想いもあり、策としては色々と考えているが、現在の根室の港では不可能である。

また、整備にかかる莫大な予算など、今後どのような形になるかわからないが、出来るだけ実現できるように国に要望するなど市としても努力しているところである。

高速道路について

○モニター

高速道路は作れないのか。まずは、水産業者などが利用可能な高速道路でもいいと思う。

●建設水道部長

実際に、トライアングル構想という釧路・中標津・根室を結ぶ構想があり、各自治体と連携して動いているが、今現在、まだ実現に至っていない。

水害について

○モニター

台風時、双沖の川が氾濫する。昆布に水がつく被害などが出ているのでどうにかならないのか。

●建設水道部長

確認後連絡する。

※災害時河口閉塞が起きた場合、現地確認して対応する。

防災無線について

○モニター

東梅では、防災無線が一部の地域しか聞こえないようなので、確認して改善して欲しい。

●総務部長

確認後連絡する。

※東梅地区の防災無線の点検を行ったが異常はなかった。防災無線は、風向きや天候などによって聞こえづらいこともあるので、ご理解いただきたい。

エゾシカについて

○モニター

市内に出没するエゾシカをどうにかできないか。

●水産経済部長

シカの対策は、郊外であれば、鉄砲を用いるなどして捕ることができるが、市内の対応は、人が追いかけるくらいしか方法がないのが現状で非常に難しい。市としてもシカ対策に力を入れており、今年度新たに罠い罠を取り入れるなどの対策を試みている。

しかし、基本的にシカは、保護しなければならない動物になるので、捕るにも許可が必要であり、ある程度の数を捕獲して減らす努力をしている。

除雪について

○モニター

道路の除雪をする際、高齢者宅の前にたくさんの雪や固い雪が置いてある。高齢者は、除雪など大変なのでどうにかしてほしい。

●建設水道部長

市内全域を除雪に回っているため、どうしても全家庭の前から全ての雪を避けるというのは不可能だと考えている。玄関前に置いているという訳ではないが、どうしてもそこに置かざるを得ない場合があるので、高齢者家庭などにおいては、高齢者福祉などの力を借りて除雪していただきたい。

長期滞在型観光事業について

○モニター

人口減について、全市民が関わって長期滞在型の観光を作り上げていく、特に根室は温泉施設のない唯一の街なのでどうにかできないか。

●総合政策部長

全国的に人口減少が叫ばれており、将来的には大都市であっても人口減少時代が来ると言われている。

また、その人口を増やすための良案は、正直日本全国どこを見ても見つかっていない。ただ、増やすことは難しいにしろ、減らさない努力は必要だと認識している。その一つとして、長期滞在型の人口を増やせないかと、試験的に古い教員住宅を改造し、移住体験住宅というものを作り、根室の暮らしを体験してもらおうという事業展開をしている。根室市民にしてみれば、当たり前の風景が、地方の人からすると素晴らしいという声が聞こえている。

これらを軌道に乗せ、根室の魅力を知ってもらい、希望としては、施設利用者と、根室市民が交流できるシステムを作りたいと考えている。

青少年センターについて

○モニター

青少年センターの老朽化に伴い、新たに全道大会誘致等のできる規格の体育館が欲しい。

●教育部長

青少年センターは、確かに老朽化しており、補修等を繰り返しているが、今の競技の基準に合わせた規格にはなっていないので、なかなか大きい大会に誘致できないというのは承知している。スポーツ関係者からの新築にして欲しいという声は入ってきており、議会でも挙げた。

教育委員会としては、近隣の市町村や似たような規模の市町村に調査依頼をして動いている。規模や建設年度については、市民などの意見も踏まえ検討したい。

少年団活動について

○モニター

民間の人が、小学生対象の少年団活動に携わるのはなかなか難しい。先生方をお願いしたいが、なかなか携われない傾向にあるようなので、どうにかならないのか。

●教育部長

スポーツ少年団活動と学校教育は全く別物なので、教育委員会としても強制できないが、学校の施設を利用して行うため、先生方との連携が必要不可欠になるということも承知している。その辺のすみ分けをどうするかというのも今の地域課題である。

また、人事異動があるため、必ずしもスポーツが得意な人が来るとも限らないので、できればたくさんの地域の方に協力してもらいたい。そのため、研修制度などがあればそれを利用して、資格を取ってもらい、一人の人に負担がかからないよう検討していきたい。

水道について

○モニター

友知地区は、海拔5mに90%以上の方が生活している。東日本大震災を経て、防災対策意識が高まり、高台にある土地に転居したいと思う人がいる。

しかし、水道が通ってないため、どうしても上にあがれない。国や道・市に補助的な何か対策はないのか。

●建設水道部長

高台でも水道は通っているが、今まで道路に面していなかった。現在進めている市道整備計画に合わせて、道路沿いに新しい配水管を入れる工事を進めている。

病院経営について

○モニター

病院は毎年赤字経営だが、何か策は取っているのか。

●病院事務長

医師の確保が難しく、収支健全化を図るためには医師がいないというのは大きく、釧路市などの病院に市民が流れているのが実態となっている。医師の確保のため院長はじめ市長には、大学等を訪問してもらっている。

また、医師不足だけではなく、接遇の問題などもあり、患者さんに信頼される病院となるために常に努力している。

○モニター

唯一の総合病院で、設備はいいのに使いこなせる人がいないという声を聞いたことがある。病院としては頑張っていると思うが、市民の誤解を解き、信頼回復に努めるべきと思う。

●病院事務長

本来ならば、総合病院として全診療科対応をするのが理想的だが、できていないという実情にある。そこで、院長から市民に病院の実情を知ってもらう必要があると提案があり、市民公開講座を開催し、市立病院の医師が健康についてなど様々な講座を開き、病院体制の実情について周知する場を設けている。

7. 閉会挨拶（市長）

今回はじめて市政モニターに参加するという人が数名いる中、長時間にわたり、貴重なご意見などをいただきありがとうございました。特に、市の重要事項について、適切な提言をいただき、大変参考になる意見がたくさんあり、感謝します。

今回の市政モニター会議は、各部長がほぼ全員そろっており、我々が考えていることと、市民の方が考えていることは、あまり差がなく、非常に心強く感じた。あとは、いかに取り組んでいくかであり、今後の市政運営にできるだけ反映させたい。

次回の開催は、来年2月を予定しております。市政モニターの任期は3月末までとなっておりますので、これからもご意見をお寄せいただきたい。市政モニターという事で、普段わざわざ来られなくても、電話などで気づいたことを提言していただければ対応したい。本日は、誠にありがとうございました。